

NSG

GROUP

NSG グループ

2020年3月期第1四半期決算報告

(2019年4月1日～ 2019年6月30日)

日本板硝子株式会社
2019年8月1日

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

イアン・スミス

執行役 グループファイナンス担当ディレクター

目次

1. 2020年3月期第1四半期 決算概要
2. 2020年3月期第1四半期 事業状況
3. 主な取り組み施策 アップデート
4. まとめ

2020年3月期第1四半期 決算ハイライト

2020年3月期第1四半期は通期業績予想に沿って推移

売上高	1,471億円 (前年比△7%)	主として円高による為替換算の影響により減少 為替影響を除けば前年比2%減少
無形資産償却前 営業利益	93億円 (前年比△9%)	当初想定通り、欧州自動車市場の減速、原燃材料コストの上昇による影響を受ける一方、太陽電池パネル用ガラスの増加やコスト改善が寄与
親会社所有者に 帰属する当期利益	29億円 (前年比△47%)	当初想定通り、前期との差額は、前年同期に個別開示項目として一過性の収益を計上した影響
フリー・キャッシュ・フロー	△268億円	戦略投資*と運転資本の季節変動等による影響

* 戦略投資: 13ページ参照

連結損益計算書

業績予想は変更なし

(億円)

売上高

無形資産償却前営業利益

償却費 *

営業利益

個別開示項目

金融費用（純額）

持分法による投資損益

税引前利益

当期利益

親会社の所有者に帰属する当期利益

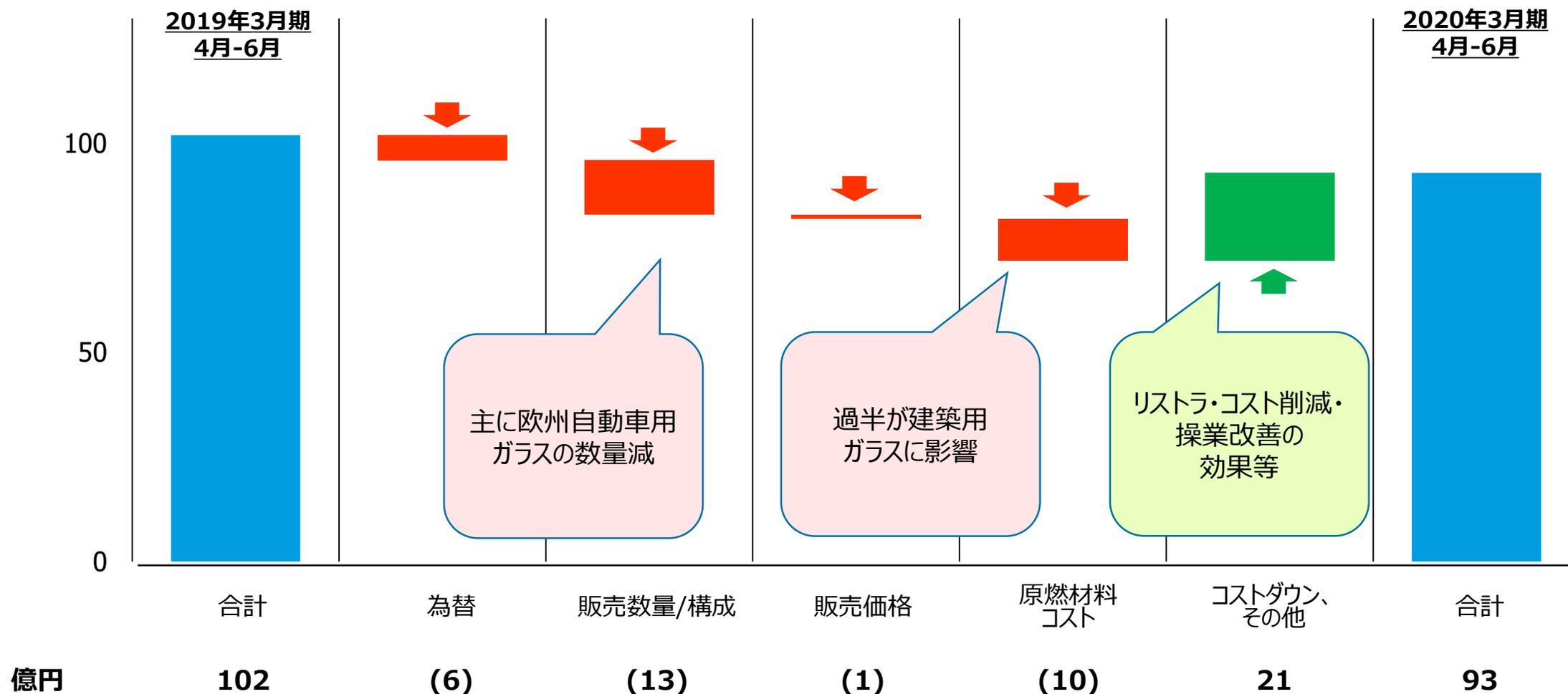
EBITDA

	2019年3月期 4月-6月期	2020年3月期 4月-6月期	2020年3月期 上期見通し	2020年3月期 通期見通し
売上高	1,584	1,471	3,100	6,200
無形資産償却前営業利益	102	93		370
償却費 *	(5)	(5)		(20)
営業利益	97	88	170	350
個別開示項目	24	(6)		(60)
金融費用（純額）	(32)	(35)		(140)
持分法による投資損益	4	5		40
税引前利益	93	52		190
当期利益	60	31		120
親会社の所有者に帰属する当期利益	54	29		110
EBITDA	167	175		

*: ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

営業利益差異分析 (無形資産償却前)

コスト・ベースの改善により、原燃材料コストの増加や数量減の影響を吸収



主要財務指標 (KPI)

ネット借入はIFRS16号の適用や戦略投資により増加

	<u>2018年6月末</u>	<u>2019年6月末</u>	<u>2019年3月末</u>
ネット借入 (億円)	3,198	3,883 ^{*1}	3,177
ネット借入/EBITDA	4.9x	5.3x	4.9x
ネット借入/純資産比率	2.4x	3.4x	2.4x
自己資本比率	16.6%	13.5%	16.2%
	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2020年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2019年3月期</u>
営業利益率 ^{*2}	6.4%	6.3%	6.3%

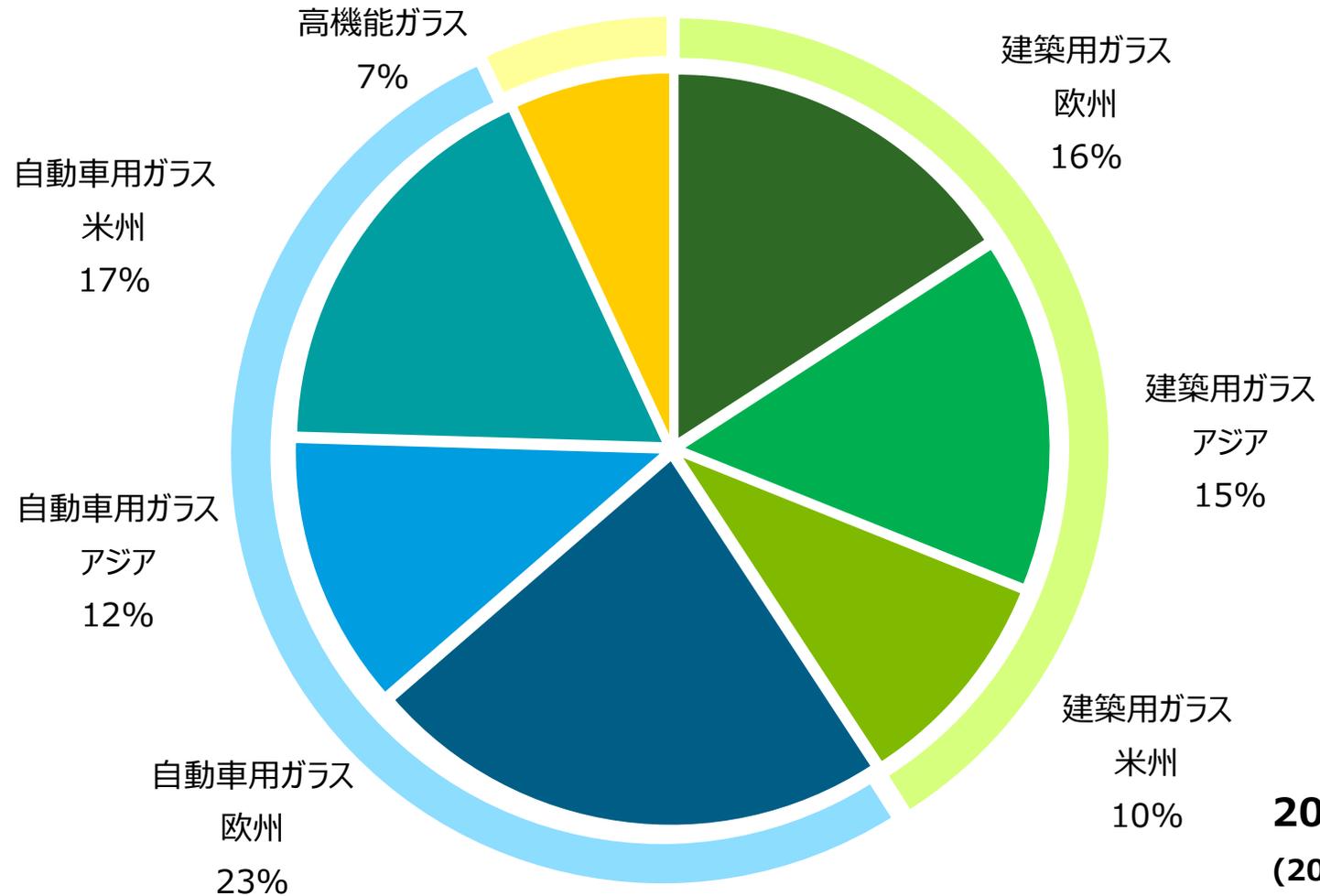
*1: IFRS16号適用による342億円の増加を含む

*2: 無形資産償却前営業利益

事業別売上高

グローバルに事業展開

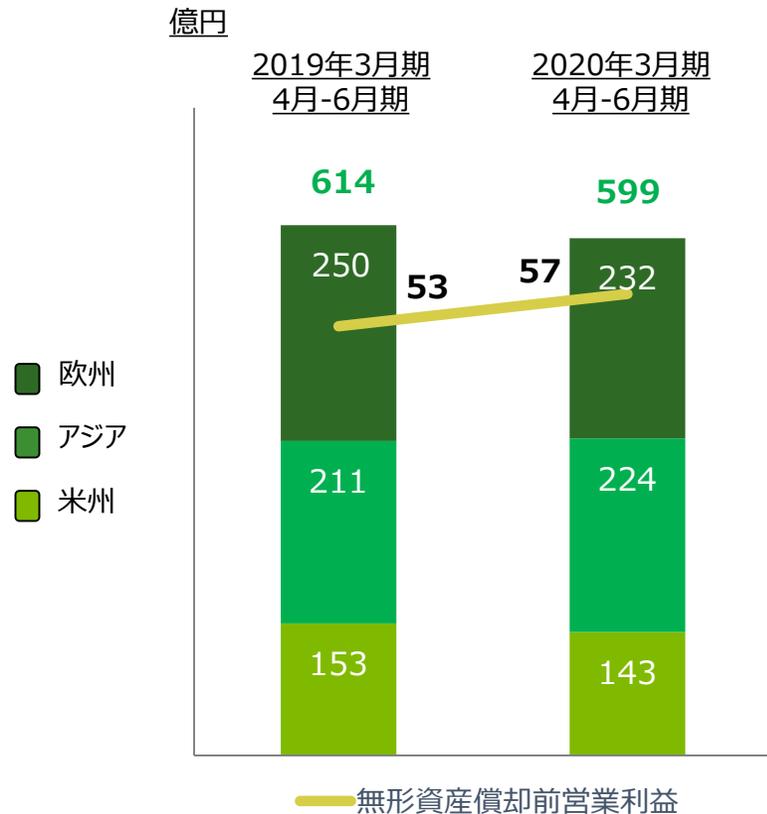
1,471億円



2020年3月期 第1四半期
(2019年4月-6月)

建築用ガラス事業 2019年3月期第1四半期との比較

太陽電池パネル用ガラスの増加やコスト削減効果が原燃材料コスト増加の影響を上回る



欧州 (減収・利益横ばい)

- 安定した市場環境
- コスト削減や生産改善による効果が投入コストの増加をカバーし、利益は前年同期レベルを確保

アジア (増収・増益)

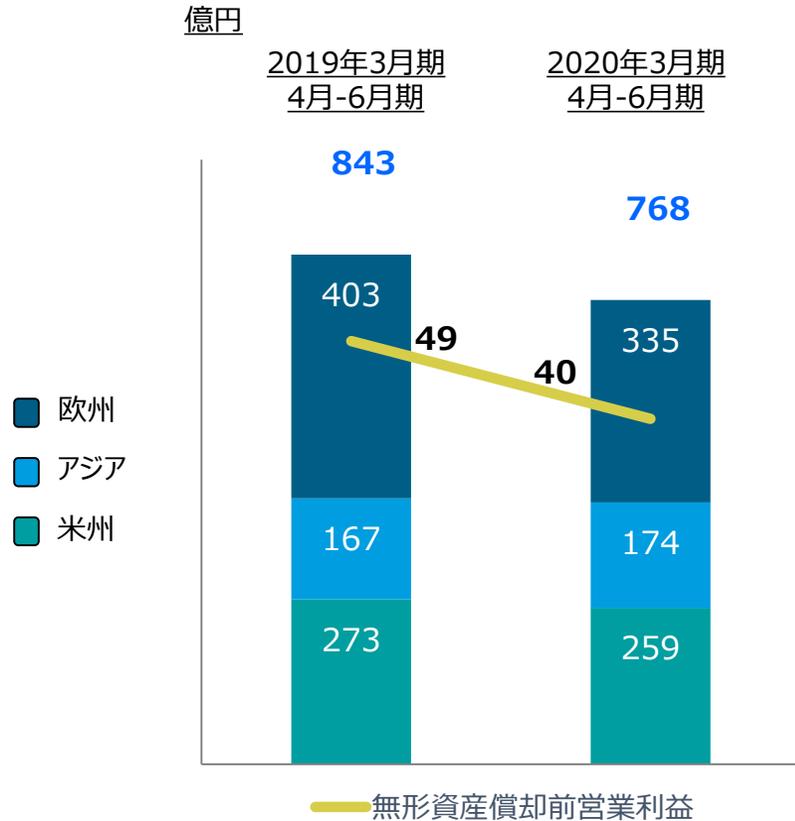
- 太陽電池パネル用ガラスの出荷が堅調に推移
- 日本の需要は前年並みの一方、東南アジアは価格下落の影響を受ける

米州 (減収・増益)

- 北米ではガラス供給増と天候不順による建築需要軟化の一方、太陽電池パネル用ガラスの出荷は増加
- 南米では現地通貨ベースの業績は改善

自動車用ガラス事業 2019年3月期第1四半期との比較

欧州での自動車生産減少の影響を受ける



欧州 (減収・減益)

- 新車用(OE)、補修用(AGR)ともに販売数量の減少により、減収減益

アジア (増収・増益)

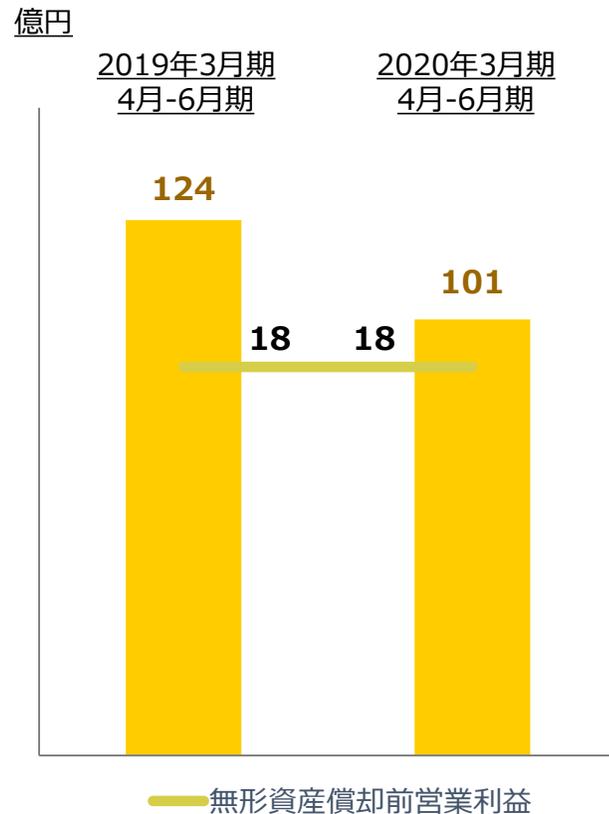
- 日本では、新車用ガラス(OE)の出荷が前年比で増加

米州 (減収・増益)

- 北米の新車用ガラス(OE)の業績は生産効率向上により改善。補修用ガラス(AGR)も販売価格改善により増益
- 南米の利益は前年並みの水準

高機能ガラス事業 2019年3月期第1四半期との比較

子会社の売却などにより減収、利益は前年並みの水準



高機能ガラス事業 (減収・利益横這い)

- 子会社の売却などにより減収
- ファインガラスの業績は、継続的なコスト削減による効果を反映
- プリンター用レンズ及びガラスコードは、需要軟化の影響を受け減収減益
- メタシャイン™ の売上は前年並みだが、自動車用塗料や化粧品の分野での需要は堅調
- バッテリーセパレーターの業績は引き続き堅調

主な取り組み施策 アップデート

来期からの再上昇に向けて、「事業構造の変革」をきちんとやりぬく

- VA 化をさらに加速し、目標の 50% へ
 - 新車用ガラス（OE）のさらなる改善に取り組む。
建築用ガラス、高機能ガラスは既に目標を達成
- 低採算事業の改善加速
 - 日本・建築用ガラス：固定費削減、値上げ発表等の収益改善施策を順次実施中
 - 北米・自動車用ガラス：引き続き生産効率の改善に取り組み中
- 戦略投資案件は稼働に向けて計画通り進行中
 - 太陽電池パネル用ガラス生産設備の増設
(ベトナム / 今期下期、北米 / FY21下期)
 - 南米フロートラインの増設 (アルゼンチン / FY21上期)



ベトナム



北米 Luckey工場



アルゼンチン

まとめ

• 第1四半期決算

- ▶ 市場は概ね想定通りに推移し、会社計画に沿った実績
- ▶ 欧州自動車市場の減速、原燃材料コストの上昇による影響を、太陽電池パネル用ガラスの成長やコスト改善で一部吸収し、想定通りの利益達成
- ▶ ネット借入は、IFRS16号（リース）の適用、戦略投資および運転資本の季節変動等により増加

• 今期の見通し

- ▶ 通期業績予想は変更せず。投入コスト増や一部市場の減速に生産効率改善・コスト削減施策で対応
- ▶ 来期からの再上昇に向けて「事業構造の変革」に引き続き取り組む
- ▶ 運転資本管理に注力し、戦略投資を除く通常のフリー・キャッシュ・フローはプラスを目指す

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

決算補足資料

- 事業部門別・地域別売上高及び償却前営業利益
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー
- 個別開示項目
- 為替レート等
- IFRS第16号「リース」の適用による影響額

事業部門別・地域別売上高及び償却前営業利益*

2019年3月期第1四半期との比較

売上高	第1四半期 (4月-6月：3ヶ月累計)		
	2019年3月期	2020年3月期	増減
単位：億円			
建築用ガラス事業	614	599	(15)
欧州	250	232	(18)
アジア	211	224	13
米州	153	143	(10)
自動車用ガラス事業	843	768	(75)
欧州	403	335	(68)
アジア	167	174	7
米州	273	259	(14)
高機能ガラス事業	124	101	(23)
欧州	21	17	(4)
アジア	99	80	(19)
米州	4	4	-
その他	3	3	-
合計	1,584	1,471	(113)

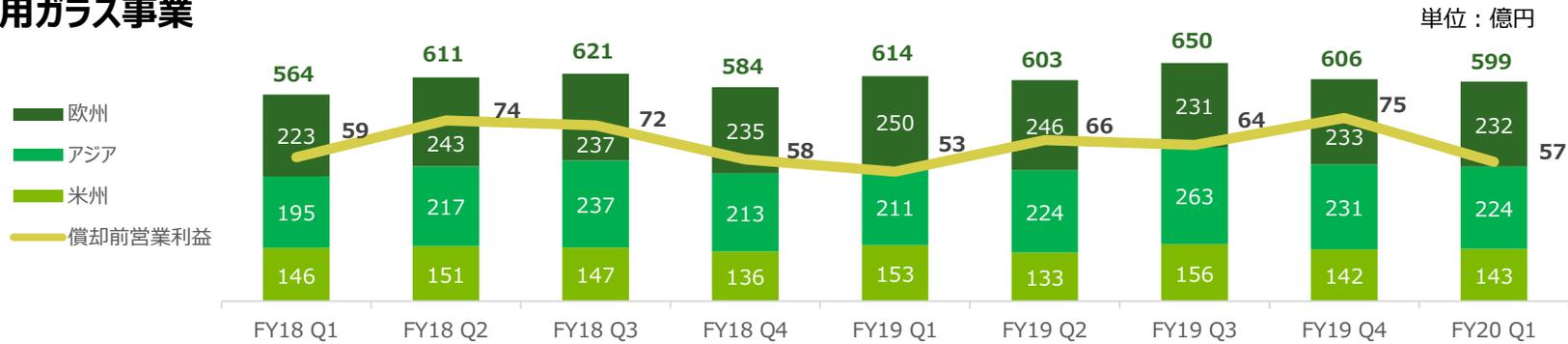
償却前営業利益*	第1四半期 (4月-6月：3ヶ月累計)		
	2019年3月期	2020年3月期	増減
単位：億円			
建築用ガラス事業	53	57	4
自動車用ガラス事業	49	40	(9)
高機能ガラス事業	18	18	-
その他	(18)	(22)	(4)
合計	102	93	(9)
欧州	58	38	(20)
アジア	36	42	6
米州	26	35	9
その他	(18)	(22)	(4)
合計	102	93	(9)

*：無形資産償却前営業利益

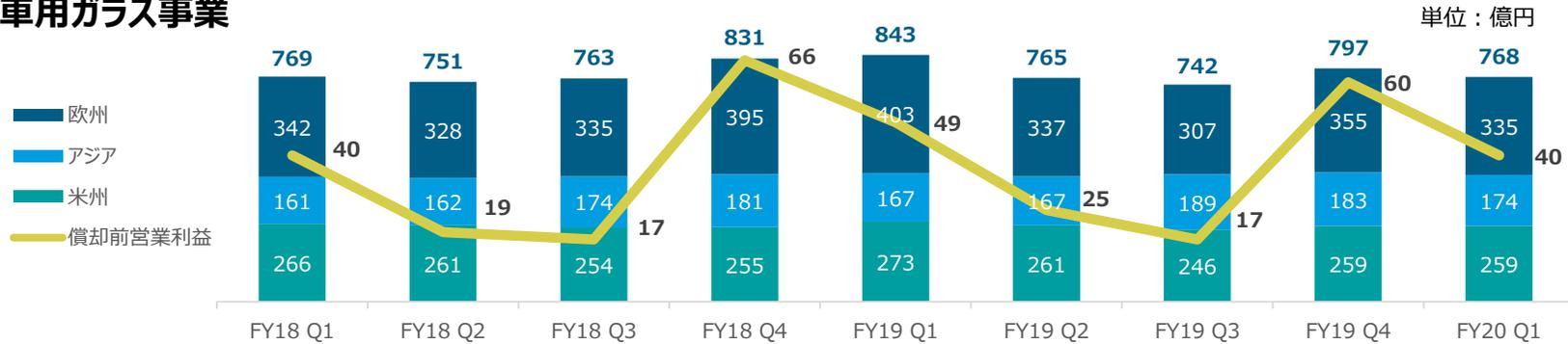
事業部門別・地域別売上高及び償却前営業利益*

四半期別推移

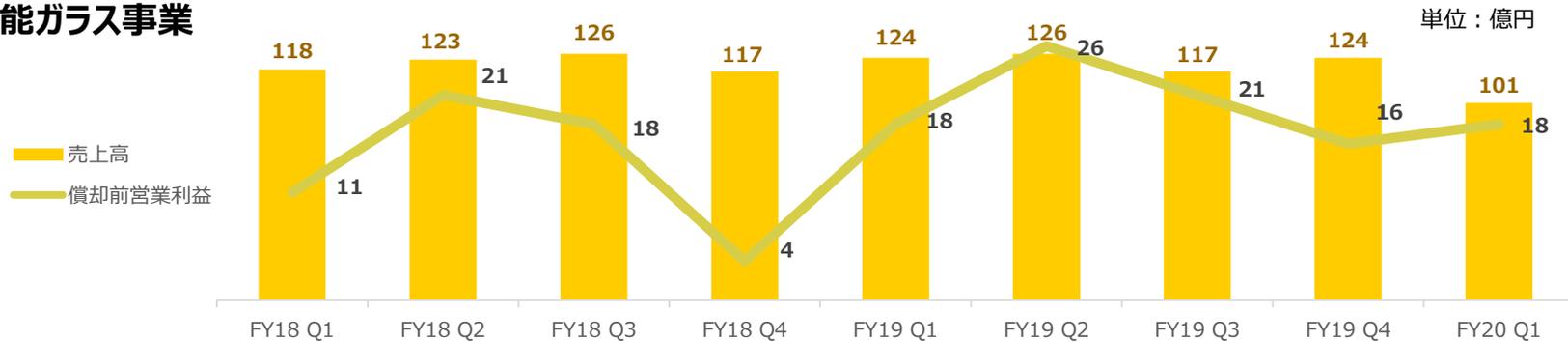
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



*: 無形資産償却前営業利益

連結貸借対照表

単位：億円

	2019年3月末	2019年6月末	増減
資産	7,619	7,841	222
非流動資産	5,163	5,482	319
のれん・無形資産	1,611	1,582	(29)
有形固定資産	2,415	2,835	420
その他	1,137	1,065	(72)
流動資産	2,456	2,359	(97)
現金及び現金同等物	524	397	(127)
その他	1,932	1,962	30
負債	6,294	6,682	388
流動負債	1,930	1,963	33
金融負債	422	622	200
その他	1,508	1,341	(167)
非流動負債	4,364	4,719	355
金融負債	3,293	3,667	374
その他	1,071	1,052	(19)
資本	1,325	1,159	(166)
親会社の所有に帰属する持分	1,238	1,062	(176)
非支配持分	87	97	10
負債及び資本	7,619	7,841	222

連結キャッシュ・フロー

単位：億円

	2019年3月期 4月-6月期	2020年3月期 4月-6月期	増減
当期利益	60	31	(29)
減価償却費	70	87	17
減損損失（戻入）	(26)	6	32
有形固定資産等売却益	-	(10)	(10)
法人所得税支払額	(32)	(32)	-
その他	18	11	(7)
営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）	90	93	3
運転資本の増加	(130)	(194)	(64)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(40)	(101)	(61)
有形固定資産の取得			
－戦略投資等	-	(131)	(131)
－その他	(64)	(60)	4
資産売却収入	1	20	19
その他	(3)	4	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	(66)	(167)	(101)
フリー・キャッシュ・フロー	(106)	(268)	(162)

個別開示項目

単位：億円

	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2020年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
子会社の売却による利益	-	10
リストラクチャリング費用	(2)	(8)
設備休止に係る費用	-	(5)
有形固定資産等の減損損失及び減損損失戻入益	27	(2)
係争案件の解決に係る費用	(1)	(1)
	24	(6)

為替レート等

期中平均レート

	FY2018				FY2019				FY2020	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	見通し
英ポンド	142	144	146	147	149	147	146	146	141	145
米ドル	111	112	111	111	110	111	111	111	109	110
ユーロ	122	126	128	130	131	130	129	129	124	130
ブラジル・リアル	34.6	35.0	34.8	34.4	30.4	29.3	29.3	29.4	28.0	28.0
アルゼンチン・ペソ	7.06	6.74	6.65	6.30	4.70	-	-	-	-	-

期末レート

	FY2018				FY2019				FY2020
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	146	151	152	150	145	148	141	144	137
米ドル	112	113	113	106	111	113	111	111	108
ユーロ	128	132	136	132	128	132	127	124	123
ブラジル・リアル	34.0	35.4	33.9	32.1	28.6	28.2	28.5	28.3	28.3
アルゼンチン・ペソ	6.81	6.42	6.03	5.30	3.94	2.84	2.93	2.53	2.53

為替感応度

他の条件に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の増加（減少）額

(億円)	FY2018	FY2019
資本	(35.0)	(33.0)
当期利益	(1.0)	(2.0)

原油価格 (ブレント)

FY2020 見通し 1バレル = \$67

IFRS第16号「リース」の適用による影響額

想定影響額

損益計算書(年換算・概算)

EBITDA	90億円の増加
減価償却費	80億円の増加
営業利益	10億円の増加
金融費用	10億円の増加
税引前利益	影響軽微

貸借対照表(期首調整)

有形固定資産	342億円の増加
リース負債	342億円の増加

NSG

GROUP